

記載例

(別紙様式)

研究指導計画書・報告書

令和 年 月 日

医科栄養学研究科 博士 課程 医科栄養学専攻

学生番号 _____

氏名 _____ 印 (名前は自署又は記名押印)

主指導教員名 _____ 印 副指導教員名 _____ 印 アドバイザー教員名 _____ 印

研究題目 _____

各年次終了時に押印の上、提出
(計画時は氏名のみ)

各年次終了時の
提出日を記載

年次		研究指導計画		研究指導実施報告	
		履修予定授業科目	研究計画	研究実施経過報告	指導教員のコメント
年次	前期	○○理論 △△演習 □□特論	1 研究テーマの設定をする。 2 APRIN の e-learning 講座を受講する。 3 抄読会に参加し、論文の読解指導を受ける。 4 研究設備・機器等使用法の実地指導を受ける。 5 研究計画を立案する。 6 研究テーマに沿った文献検索についての指導を受ける。	1 研究テーマを「○○○○」と設定した。 2 研究テーマにそった文献を収集した。 3 「○○○○」の手法を学習し、概ね 1 人で実行できるようになった。 4 中間発表会で「○○」について助言を受けた。 5 APRIN の e-learning 講座を受講した。 6 研究室の抄読会で発表した。	主指導教員名 _____ 面談日 _____ 1 研究テーマについて助言した 2 文献収集に助言した。 副指導教員名 _____ 面談日 _____ 1 データ収集について助言した。 2 文献収集に助言した。 アドバイザー教員名 _____ 面談日 _____ 1 医療統計が不得手とのことなので評判の書籍を紹介した。
	後期				

	後期	□□論 △△特別演習	1 実験等の研究指導を受ける。 2 関連学会・研究会等に参加し、当該分野の視野を広げる。 3 実験等データの解析と解釈に関する指導を受ける。 4 専攻公開ゼミで発表する。	1 「〇〇」学会に参加し、研究成果を発表し、意見交換を行った。 2 研究テーマに沿った文献を収集した。 3 専攻公開ゼミで発表し、指導を受けた。 4 研究の進捗状況を報告し、データの解釈と今後の研究の方向について指導を受けた。 5 研究成果を修士論文（博士論文）にまとめるとともに、公開審査の発表資料を作成した。 6 研究成果を論文として発表した。	主指導教員名 _____ 面談日 _____ 1 「〇〇」学会で発表するよう助言した。 2 研究の進捗状況を確認し、データの解釈や方向性について指導した。 3 論文作成の指導を行った。 副指導教員名 _____ 面談日 _____ 1 結果のまとめ方を助言した。 2 研究の進捗状況を確認し、データの解釈や方向性について指導した。 アドバイザー教員名 _____ 面談日 _____ 1 中間発表会で助言した。 2 結果のまとめ方を助言した。 3 論文の作成状況を確認した。
--	----	---------------	--	---	--

本計画書・報告書により、教育部の研究指導方針に基づいて、研究指導が実施されていることを確認する。

※研究指導計画（「履修予定授業科目」及び「研究計画」）及び研究実施経過報告は主指導教員・副指導教員の指導に基づき作成し、学生が記載する。

※入学時（平成 31 年度 2 年次生以上は、31 年 4 月時）、その時点から修了までの各年の研究計画を記載した研究指導計画書・報告書を作成の上（研究指導計画の部分（履修予定授業科目・研究計画）のみの作成）、その写しを学務課第一教務係（大学院担当）に提出すること。

※計画が変更となった場合は、その都度、修正した計画書を学務課第一教務係（大学院担当）に提出すること。

※研究実施経過報告：研究指導の進捗状況、実績、成果等を記載する。

※指導教員のコメント：学生の取組み状況、指導内容、指導計画の変更等を主指導教員、副指導教員及びアドバイザー教員が記載する。

※副指導教員及びアドバイザー教員は少なくとも半年に一度は面談等を行い、所見等を記載する。

※面談等は電話やメール等による連絡でも可とする。

※他教育部の教員が副指導教員及びアドバイザー教員になる場合は、「徳島大学における学部及び大学院の学生の研究指導について（平成28年10月19日大学教育委員会決定）に基づき、手続きすること。

※研究指導計画書・報告書は入学時に作成し、各年次の終了時に研究指導実施報告の記載及び全員の押印の上、学務課第一教務係（大学院担当）に提出する（最終年次は学位論文提出までに提出する）。提出された研究指導計画書・報告書は、プログラム評価委員会等で随時確認し教育の質向上に役立てる。また、学位審査時に確認する。

※普遍的な研究倫理観を醸成するために APRIN の e-learning 講座を受講する。（研究指導において、研究倫理教育を行うことを必ず記載。）

その他 研究計画記載例：

・標準修了年限（○年）による修了（修了予定年月日：○○年○○月）を目指し、○○研究遂行及び学位論文の作成にかかる研究指導を受ける。（早期修了・長期履修・留学・ダブル・ディグリー等についても記載。）

・定期的（通常では毎週）に研究室のゼミを受講し、論文輪読や研究の進捗状況に関する発表会において、研究分野や関連する分野に関する知識の習得をするとともに、研究遂行上の助言、研究の進め方についての助言、指導等を受ける。（通常の指導の概要を記載。）

・中間発表においてその時点までの研究内容のまとめを発表し、主指導教員以外の教員からの助言を参考に研究内容の再点検、振返りをする。

・研究成果を学外の学会等で発表することを目標とし、幅広い研究者からの意見を取り入れることで、研究の完成度を高める方法について指導を受ける。

・研究成果をまとめ学術雑誌において発表するため、論文の内容だけでなく、投稿論文の作成、投稿、査読者との対応など、論文掲載に至るプロセスにおいて適宜指導を受ける。

・主指導教員の担当授業の TA、研究の RA へ参加し、自己の研究遂行だけでなく、学生の指導を通じてコミュニケーション能力やリーダーシップ能力を高める